

令和 2 年度厚生労働科学研究地域医療基盤開発推進研究

「医療安全に資する病院情報システムの機能を普及させるための施策に関する研究」

アンケート調査協力をお願い

研究班の皆様

本研究の推進にご尽力いただきありがとうございます。

病院情報システムに付与されるべき医療安全機能の抽出と今後の実装に関する総論を整理するにあたり、皆様方の病院における医療情報担当部署と医療安全管理担当部署の関係や、これまでに病院情報システムに施した医療安全関連の対策についてのアンケート調査をお願いしたいと考えております。

使用するのは別添の調査票です。これは、公益財団法人日本医療機能評価機構の認定病院患者安全推進協議会 IT 化・情報機器部会（2015 年当時）がまとめた、「患者安全にかかわる情報システム導入時チェックリスト」をほぼそのまま活用しています。このリストは、筑波大学の大原先生が中心となって作成されたものです。今回の調査の目的にも合致すると考え、大原先生、松村先生相談の上、大原先生のお許しを得て使用させていただきお許しを得ました。なお、「項目 5. 安全機能の追加など」のみ私の方でチェック項目を追加させていただいております。

また、項目 5. に関連して、別に「病院情報システムに搭載されている独自の医療安全機能に関する調査票」を追加しています。各病院で調査票に載っていない医療安全機能を構築されている場合、その情報をぜひ頂戴できればと思います。該当項目を記入いただきますようお願いいたします。

このほか、今後研究班以外の病院を対象に調査を行うことも想定して、また最近の病院情報システムを取り巻く状況の変化も踏まえ、調査票の改善に関するご意見（調査項目の表現の改善、を踏まえた項目の追加・削除、についての提案 等）ございましたら、併せてお知らせいただければ幸いです。

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、期限は 1 月 29 日とさせていただきます。

アンケート記入にあたってご負担をおかけして申し訳ありませんが、何卒よろしくお願いいたします。

令和 3 年 1 月 4 日

島根大学医学部環境保健医学講座

名 越 究

(連絡先)

電話 0853-20-2161

メール nagoshi@med.shimane-u.ac.jp

令和2年度厚生労働科学研究地域医療基盤開発推進研究

「医療安全に資する病院情報システムの機能を普及させるための施策に関する研究」

「患者安全に関わる情報システム導入時チェックリスト（2020版）」

医療機関名称

（ ）

記載者所属・肩書

（ ）

記載者氏名

（ ）

病院情報システムを構成する主要ベンダー名

（ ）

現行システム導入時期

西暦（ ）年

更新予定時期

西暦（ ）年

※病院の概要に関して、病床数、職員数、調剤数、患者数等、「特定機能病院に係る業務報告書」に記載されている情報については、当方で収集させていただきます。

1. システム・端末整備など

(a) ハード面の整備

	チェック項目	充足していたら○
i.データ保存の二重化	① ハードディスクの二重化（ミラーリング等を含む）	
	② ハードディスク以外の外部メディアにも保存	
	③ 遠隔地での保存	
ii.ネットワーク（サーバからフロアスイッチまで）の整備	① 基幹ネットワークの冗長化	
	② ループ対策	
	③ サーバ管理によるセキュリティソフトの導入・最新化のチェックなど	
iii.電源系統の二重化（以下のいずれかのレベル）	① 自家発電系の整備	
	② 無停電発電装置からの電源供給	
iv.診療情報端末等について	① 現場の要望に対し必要数が確保されているか	
	② ノートP Cのバッテリー交換手順（交換基準など）の整備	
	③ 端末管理台帳等の整備	

○の数

2. システム運営・マスタ管理・研修など

(b) システム管理・運営／研修組織体制の整備

	チェック項目	充足していたら○
①	基幹システム・サーバ類（ハードウェア、ソフトウェア）における保守契約の締結	
②	医療安全管理部門と情報システム部門の連携体制の整備	
③	医療事故防止（安全管理）マニュアルへの情報部門による記載	
④	情報システム操作運用マニュアルの整備	
⑤	システム障害時対応マニュアルの整備	
⑥	システム障害事後処理手順マニュアルの整備	
⑦	大規模災害時情報システム対応マニュアルの整備	
⑧	職種別・資格別などの適切なシステム権限の設定	
⑨	適切なパスワード設定の管理（文字数・有効期限の設定など）	
⑩	患者カルテへのアクセスログ管理	
⑪	定期的システム監査体制の整備（内部監査・外部監査など）	
⑫	入職者全員が受講できる研修教育体制の整備	

○の数

(c) マスタ管理体制

	チェック項目	充足していたら○
①	基幹システムのマスタ管理体制の明確化	
②	部門システムのマスタ管理体制の明確化	
③	基幹－部門のマスタ連携の確立	

○の数 _____

3. 認証・ダブルチェック・承認システムなど

(d) 入院患者を対象としたネームバンド・バーコード等による認証の導入

チェック項目 充足していたら○

① 内服薬	与薬時	
② 注射・点滴	実施時	
③ 輸血	実施時	
④ 観血的処置	実施時	
⑤ 放射線・生理検査時の患者確認		
⑥ 手術室入室時の患者確認		

○の数 _____

(e) 初期研修医のオーダに対する指導医等による承認機能の導入

チェック項目 充足していたら○

① 内服処方		
② 注射・点滴		
③ 輸血		
④ 観血的指示・処置		
⑤ クリニカルパス適用	承認または指導医権限	
⑥ 化学療法レジメン適用	承認または指導医権限	

○の数 _____

4. 薬剤関連・処方・アレルギー連携など

(f) 薬剤関連・処方システムなど

チェック項目 充足していたら○

① 内服薬 1 回量処方 (1 日量処方併記を含む)		
② 標準用法マスタの採用		
③ ハイリスク薬の設定およびシステム支援による管理		
④ 過剰投与のチェック/アラート機能		
⑤ 投与禁忌のチェック/アラート機能		
⑥ 製剤量・成分量処方への対応		
⑦ 適応外処方のチェック/アラート機能		
⑧ 相互作用・相互禁忌薬のチェック/アラート機能		
⑨ 複数診療科からの同効薬処方のチェック		
⑩ 類似名薬の処方に対する対策 (3 文字入力など)		
⑪ 薬剤アレルギー記載と薬剤オーダとの連携		

○の数 _____

(g) 基幹システム上の各種アレルギー情報の部門システムへの伝達

チェック項目

充足していたら○

① 薬剤部門との連携	
② 放射線部門との連携	
③ 内視鏡検査（光学診療）部門との連携	
④ 栄養管理部門（給食）との連携	

○の数

5. 安全機能の追加など

(h) その他のシステム（機器）・機能の導入

チェック項目

充足していたら○

① 患者の二重登録のチェック確認	
② 電子クリニカルパスの導入	
③ 化学療法レジメン管理システムの導入	
④ 検査結果異常値の主治医（オーダ医）への通知機能	
⑤ 病理・画像検査レポートの主治医（オーダ医）未読管理機能	
⑥ MRI検査時インプラント等確認メッセージ機能	
⑦ 輸血オーダ時の血液型チェック機能	
⑧ 血液型の管理機能	
⑨ 血球血液型・血漿血液型のチェック機能	
⑩ 輸血・生物製剤のトレーサビリティの確保	
⑪ 輸血後の感染遡及調査管理機能	
⑫ インスリンスライディングスケールのフォーマットの標準化	
⑬ B型肝炎と抗がん剤等による肝炎再活性化対策	
⑭ 医療安全管理部支援（インシデント・アクシデント報告機能と分析機能、e-ラーニング）	

○の数

(h) その他のシステム（機器）・機能の導入

病院情報システムに搭載されている独自の医療安全機能に関する調査票

番号	1
機能名称	
導入時期	
関係する部署	
具体的内容	
導入のきっかけ	
これまでの実績 に対する評価	
今後の改修予定	
他医療機関への 展開の可能性	
その他	

病院情報システムに搭載されている独自の医療安全機能に関する調査票

番号	2
機能名称	
導入時期	
関係する部署	
具体的内容	
導入のきっかけ	
これまでの実績 に対する評価	
今後の改修予定	
他医療機関への 展開の可能性	
その他	

病院情報システムに搭載されている独自の医療安全機能に関する調査票

番号	3
機能名称	
導入時期	
関係する部署	
具体的内容	
導入のきっかけ	
これまでの実績 に対する評価	
今後の改修予定	
他医療機関への 展開の可能性	
その他	

(不足する場合、必要に応じてコピーして追加してください)

【その他】 調査票に対するご意見

	箇所	意見
(例)	3. (d)	当院では入院患者のバーコード認証も行っている。 入院・外来の区分を無くして、項目を増やしてはどうか。
1		
2		
3		
4		
5		
6		